

(2) 低燃費型車両・低公害型車両等の導入 — 車両購入時の取り組み

① 対策の概要

収集運搬車両の買い替え・新規購入時に低燃費型車両・低公害型車両を導入することで、産業廃棄物収集運搬時の燃費が向上し、燃料消費量が削減されるため、温室効果ガス排出量を削減することができます。

低燃費型・低公害型の収集運搬車両として、天然ガス車、LPG車、ハイブリッド車が市販されており、営業用自動車としてこれらに加え電気自動車があります。また、収集運搬車両の燃費は規制に伴い向上しており、購入から年月の経過した車両（高車齢車）を最新の規制適合車へ買い替えることによっても、収集運搬時の燃費向上効果があります。

これらの車両の導入には、中央官庁・地方自治体・公的金融機関による各種の補助制度や税制上の優遇措置、融資制度があります。

② 対策導入事例

ユニクル株式会社

大阪府茨木市横江2丁目9番45号
072-630-6720 <http://www.unicle.co.jp/>

- ・産業廃棄物収集運搬車両に、天然ガス自動車及びハイブリッド自動車を導入し、資源の有効利用の促進に貢献している。今後も引き続き、天然ガス自動車等を導入する予定である。
- ・ISO14001認証や、産業廃棄物処理業者の優良性の判断に係る評価制度における適合認定を取得し、循環型社会形成を推進する企業を目指して、環境負荷をできるだけ少なくするための取り組みを進めている。



天然ガス自動車導入事例



ハイブリッド自動車導入事例

出典：ユニクル株式会社ホームページ